



道 標

札幌市立陵北中学校 進路通信 No.18

発行者：教務部進路指導係

発行日：令和8年8月31日（月）

☆9月10日 学力テストA！！

9月10日（木）は、学力テストAです。

これまで各自が取り組んできた「1・2年生と3年生1学期までの学習内容の復習」の成果がいよいよ一つの結果として表れる機会です。



学力テストAでは、これまでの学習で身に付けてきたことはもちろん、受験生としてこの夏までにどれだけ努力してきたのか、その成果を確かめることができます。

思うような結果になる人もいれば、「まだまだ力を伸ばさなければ」と感じる人もいるでしょう。どちらであっても、ここで得られた結果を、これからの学習につなげていくことが大切です。

3回の学力テストは、進路を考えるための大切な資料です

公立高校の合否は、入試当日の得点だけで決まるわけではありません。中学校から提出する個人調査書（内申書）や面接なども含めて、総合的に判断されます。その中でも、内申点と入試当日の得点は、合否を考える上で大きな判断材料になります。

内申点は、これまでの成績からある程度見通すことができます。一方で、入試当日にどれくらいの点数を取ることができるのかは、実際に受験してみるまで分かりません。

そこで行われるのが、9月・10月・11月の学力テストA・B・Cです。これらは、公立高校入試を意識した問題で、自分が今どれくらいの力を持っているのか、そして実際の入試でどのくらいの得点が期待できるのかを判断するための大切な資料になります。

だからこそ、

「学力テストの勉強をしていなかったから……」

という言葉だけでは、進路を考えるための資料としては十分とはいえません。

厳しい言い方をすれば、まだ受験生としての勉強に十分取り組めていない人にとっては、今回のテスト結果を「今の実力」としてそのまま進路選択に生かすことは難しいでしょう。

ただし、思うような結果が出なかったことで、

「このままではいけない。もっと勉強しなければ！」

と強く感じる事ができれば、それも学力テストを受ける大きな意味の一つです。

そして何より大切なのは、テストを受けて終わりにしないこと。

返却された答案を見て、「どこができなかったのか」「なぜ間違えたのか」「これから何を勉強すればよいのか」を考え、次の学習につなげてください。

A・B・Cの3回の学力テストを、ただの「点数をつけられるテスト」にするのか、それとも「自分の力を伸ばすためのテスト」にするのか。

その意味を決めるのは、テストを受けた後の自分自身です。

9月からの3か月間を、どのように過ごすか。

その積み重ねが、学力テストの結果だけでなく、秋以降の進路選択にもつながっていきます。

ここからの3か月、受験生として本気で取り組んでいきましょう。

※9月18日（金）に第3回進路希望調査用紙を配付します。

学力テストAの結果も踏まえながら、現在の志望校・学科・コースについて確認しておきましょう。

☆学校説明会等のお知らせ

以下の高校について、すでにすぐーるで学校説明会等の案内を配信しています。

ぜひご確認ください。

野幌高校，市立札幌平岸高校，札幌啓成高校，札幌あすかぜ高校，市立札幌大通高校，札幌北高校
札幌東高校(保護者対象)，北広島西高校，札幌白石高校，札幌稲雲高校，札幌西高校(保護者対象)